



香 美 史 探 訪 記

第2回
甫喜ヶ峰疎水と水力発電土佐山田町
久次・平山・繁藤

新改川水争いの碑

甫喜ヶ峰疎水 県道前浜植野線の植三差路を西進すると、国分川の上改田橋から西南に、久次宇佐八幡宮の森が見える。この神社の境内には「新改川水争いの碑」が建てられている。

約400年前、国分川両岸の低地は、新改川に堰を築き、これから導水する水田地帯となっていた。約350年前、上流にコロンボ堰が築かれ、須江上段に新田を開き、元禄14年（1701年）の藩令により水量の取り分が決められていた。

明治6・7年、この地域は大干ばつに見舞われた。久次・植田など本田と須江新田の農民が、コロンボ堰をめぐる水争いとなり、明治19年、大審院の裁定で同21年、両者の間で分水規約書が作成された。新改川では干ばつの時、水量が不足するので穴内川からの疎水が計画されることになった。明治29年10月、甫喜ヶ峰トンネル水路の掘削を開始したが、925mは難工事となった。内部での人工作業に酸素不足が発生し、工夫の奥さんも動員して「唐箕（とうみ）」を並べてのリレー方式で風を送るなどして、3年9ヶ月を要し明治33年7月、待望の貫通となった。

この「甫喜ヶ峰疎水」の完成で国分川流域での干ばつは起らなくなり、明治42年には鏡野川が開通して山田町の生活・防火用水が確保され、土佐山田駅北側の畠地80ヘクタールを水田とすることができた。

高知県水力発電発祥の地 平山 甫喜ヶ峰疎水の落差を利用する水力発電所建設を土佐山田町平山に計画した県知事宗像政は、県議会にこれを提案したが、西日本では琵琶湖疏水に次ぐ2番目ということでもあって紛糾し「水から火ができるか？」「針金にどうやって穴を開けるか？」と言われたという。知事は気長に説得して、明治42年2月11日に、高知県で最初の水力発電所である平山発電所（出力1080kW）が完成し、1市4郡の電力需要を賄った。同様に大正8年には、新改第二発電所が完成された。旧平山小学校前の谷川を上流に進め、平山発電所跡に着く。ここには、県電気記念日実行委員会が昭和53年に建てた記念碑がある。題額の『流れを逐つて源を忘る勿れ』は、当時高知県知事宗像政氏の書であり、説明に『電気百年の記念日にあたり電気史跡として之を建て後世に残す』とある。



甫喜ヶ峰疎水トンネル出口

甫喜ヶ峰疎水トンネル出口

甫喜ヶ峰疎水取水口跡 平山発電所跡をさらに上流に向かい、水路跡の『電力私有地立入禁止』と書かれた看板を取り付けたフェンスで囲まれた敷物の道を300メートルほど進むと、疎水トンネル出口の赤レンガに着く。ここには、当時の県知事石原健三氏の書が掲げられ『永頼』と書かれている。また、県道を高速道路の下に進むと『繁藤ダム』に着く。そこに当時の内務大臣板垣退助が、郷土における本事業のため、外国人技師デレーケを派遣し、取水口は天然の好位置であると言われた『鬼頓房渕（ひとつぼぶち）』がある。現在はダムのため取水路の堤防と取水口がわずかに見られる。（香美史談会）

編集後記

今月号の表紙の写真に選んだ美良布保育園の『こいのぼり運動会』は、青空の下で行われました。初夏を感じさせる強い日差しを受け、園児の背丈までかがんで撮影をしていると、額から汗が流れてきました。

私は香美市の社会活動は日本のおもてなしだと思います。このような日本のおもてなしにとても感動しています。ですから香美市での留学体験は私の心の中で永遠に忘れる事はないだろうといつも思います。

香美市には社会活動の機会がたくさんあります。私たちがその活動に参加し、協力して楽しんでいます。例えば、『シカ食害対策イベント』では長い山路を歩きながら、香美市の山について勉強しました。また、『塩の道ウォークリング』のときは香美市の皆さんと一緒に歩いて、とても楽しかったです。

友達にはいろいろな国から外国人がいます。そして日本の友達もたくさんいます。香美市には社会活動の機会がたくさんあります。私たちがその活動に参加し、協力して楽しんでいます。例えば、『シカ食害対策イベント』では長い山路を歩きながら、香美市の山について勉強しました。また、『塩の道ウォークリング』のときは香美市の皆さんと一緒に歩いて、とても楽しかったです。

作:山崎茉紀・宗石真奈
(山田高校マンガ部)

◆不法広告が問題化 電柱や道路標識などに非法な広告が目に余るくらい張られている。ある行政の方が難儀してはがしていましたが、なかなかはげず大変汚くなっています。一般的者は勝手に除去できないので

警察や関係行政は、その企業や団体に強い姿勢で臨むべきだとの声が広がっています。前から言わっている事ですが、その都度、すぐ手を打つべきだと思いま

（土佐山田町 前田和夫）



『大井平たまちゃん日記』
おばあちゃん おかえり
入院中さびしかったよ
おばあちゃんは いつもやさしいニヤ
フニヤーン たま しあわせ
いつまでも いつしょだニヤン♪

ただいま留学中⁽²⁵⁾

（インドネシア・バンドン市）

香美市の皆さん、こんにちは。私は高知工科大学大学院博士1年、専門はフロントティア工学です。昨年10月に入学したので、この暮らしは7ヶ月になります。香美市の景色はとてもきれいで、山や川や田んぼがあります。だから空気はとても新鮮ですね。



日曜市からの帰り道、物部川沿いを夫と娘と

れいで、まるで絵のようですね。『鏡野公園』という名前は、『鏡』の公園です。私は家族と一緒に日本の古い家に住んでいます。毎朝、家の庭で、いろいろな鳥が歌を歌つたり、虫が果物を食べたり、ダンスをしたり

します。そのような様はとてもきれいで、おもしろいです。

片地の桜公園がとてもきれいで、まるで絵のようですね。『鏡野公園』という名前は、『鏡』の公園です。私は家族と一緒に日本の古い家に住んでいます。毎朝、家の庭で、いろいろな鳥が歌を歌つたり、虫が果物を食べたり、ダンスをしたり

広報かみ平成21年6月号